

2019年度 児童発達支援センターにこにこ事業報告

1. 事業目的・経営方針

地域の子ども達及びその家族が通所し、スローガンにも掲げる「来て良かったと思えるセンターに」「子ども達の“楽しい”“嬉しい”がたくさんつまった場所に」「子どもも職員も笑顔で過ごせる場所に」とした施設づくりを意識し強化を行ってきた。特に2019年度は幼児教育の無償化による報酬単価の改訂、医療的ケア児や、やむを得ない事由における措置（施設・里親委託児童）等のニーズに合った受け入れ、に迅速に対応をし、関係機関との連携をより充実させていくことで子育てのしやすい環境、地域作りを行ってきた。

2. 組織体制

【Ⅰ】利用定員

事業所名		定員	対象障害	対象年齢
児童発達支援センター 「にこにこ」	地域療育センター			未就学～学童児
	児童発達支援	10	難聴・重心 身障害以外 の障害	未就学児
	放課後等デイサービス			学童児
	保育所等訪問支援			未就学～学童児

※保育所等訪問は利用者による申請（1人月2回程度）

【Ⅱ】職員構成

職員数 11名（正規職員 7名 非常勤職員 4名）2019.3.31

管理者（心理士）	1	児童発達支援 管理責任者	1	保育士	5 (2)
児童指導員	1 (1)	看護師	1	指導員	1 (1)

※（）内数は非常勤職員

3. 営業時間

開所時間 9:00～18:00 月曜日～金曜日

但し、8/13～8/15をお盆休み、12/30～1/4を年末・年始休み、3/31を新年度準備休みにして療育サービスを休業とした。

※祝日は放課後等デイサービスの親子療育を実施(事業報告にて記載)

4. 事業概要

【Ⅰ】児童発達支援（にこにこなかま）

定員10名に対して、午前中（9時～11時半）月曜日～金曜日で曜日毎にグループを分け、未就学児及びその家族等に対して基本的な生活動作、また集団生活への適応を図り、小集団活動、運動・感覚遊び等を実施した。

(1) 契約者数 (2020.3.31)

学年	未満児・年少	年中	年長
契約者総数	10	5	14
医療的ケア児	0	1	0
措置児童	0	0	3

計 29 名

(2) 年間実績 (延べ人数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
50	75	81	80	68	63
10月	11月	12月	1月	2月	3月
77	75	76	85	69	63

計 862 人

(3) 主活動・行事関連

- 1 感覚統合
- 2 サーキット
- 3 買い物体験
- 4 クッキング
- 5 製作活動
- 6 リトミック(4月・6月・8月・10月・12月・2月)
- 7 就学時健診の練習 (9月)
- 8 サポートブックの作成 (1月～)
- 9 その他、時季に合わせた内容を盛り込んだ (水遊び、遠足など、年長児の移行支援)

【II】放課後等デイサービス (すまいる)

定員 10 名に対して、学校終了後に送迎を行い、月曜日～金曜日毎にグループを分け、基本的生活動作、また集団生活への適応を図り、SST、小集団活動、個別学習等を実施した。また、祝日は希望者を募って平日では行えない親子療育を行事として行った。

(1) 契約者数 (2020. 3.31)

	小学生	中学生	高校生
契約者総数	45	3	0
医療的ケア児	0	0	0
措置児童	2	0	0

計 48 名

(2) 年間実績 (延べ人数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
173	190	171	219	164	185
10月	11月	12月	1月	2月	3月
197	203	192	182	172	195

計 2243 人

(3) 主活動・行事関連

- 1 感覚統合
- 2 サーキット
- 3 公共施設の利用（図書館や環境センター、買い物体験など）
- 4 クッキング（たこやき、ホットケーキ、ピザ、ポテト）
- 5 製作活動
- 6 リトミック（8月）
- 7 その他、時季に合わせた内容を盛り込む（水遊び、中学校への移行支援、見学など）
- 8 祝日の親子療育の開催（7/15 親子バーベキュー 11/4 親子ボーリング大会）

【Ⅲ】 保育所等訪問支援事業

月に1回～2回、保護者から申請があった場合に訪問支援員が利用者が通っている保育所等を訪問し、支援先の職員に助言等を行った。

(1) 【契約者数】 35名（保育所等訪問のみ）2019.3.31

(2) 年間実績（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	2	3	0	1	4
10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	2	5	4	0	0

計 27 件

(3) 主な訪問先

中央保育園、すずかけ保育園、わかたけ保育園、津奈木保育園、水俣第一小学校、水俣第二小学校、袋小学校、佐敷小学校、湯浦小学校、水俣第一中学校、西方寺学童クラブ、ありんこルーム

(4) 主な申請内容

- 1 授業や園の様子が心配
- 2 先生方の対応をみてほしい
- 3 運動会の参加の仕方について提案をしてほしい
- 4 遊びの際の動き、食事の時の姿勢や食べさせ方など

【Ⅳ】 水俣・芦北圏域地域療育センター事業

心身の発達において特別な配慮を要すると思われる児童、またその保護者に対して、相談を通して、発達に応じた適切な対応を検討し行った。

※詳細は別紙記載（資料①）

【Ⅴ】 巡回支援専門員整備事業

発達障がい等に関する知識を有する専門員が、保育所等(幼・保・こども園、小・中・高や学童)の子どもやその親が集まる施設・場への巡回支援を実施し、施設等の支援を担当する職員や親に対し、障害の早期発見・早期対応のための心理検査及び助言等の支援を行った。

(1)年間実績 (件数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
8	10	12	10	14	14
10月	11月	12月	1月	2月	3月
11	14	15	10	12	18

計 148 件

(2)主な訪問先

水俣保育園、認定こども園ふたば幼稚園、中央保育園、田浦保育園、湯浦保育園、芦北保育園、計石保育園、吉尾保育園、津奈木保育園、水俣第一小学校、葛渡小学校、久木野小学校、袋小学校、水東小学校、田浦小学校、吉尾小学校、水俣第一中学校、袋中学校、緑東中学校、きずなの里、もやい館

5. 職員処遇

【I】職員研修

- 1. 6/15,7/13,8/24,10/12,12/14,2/8 (療育支援者勉強会：資料②)
- 2. 1/21 児童養護施設光明童園と共催の“ひかりっこセミナー”(「発達症の「二次障害」－吉田病院・興野康也 氏)を実施。 ※他研修は別紙記載 (資料③)

6. 権利擁護

権利擁護及び苦情解決体制

- 1. 今年度の苦情件数は 0 件で保護者向けアンケートにて要望等を受ける。
- 2. 体罰、虐待禁止の説明及びチェックリストの実施 (7/3 ・ 1/8)

7. 危機管理

【I】防災訓練

12 月に行った児童養護施設光明童園の防災避難訓練に当センターの利用者及び職員も合同で訓練に参加。また、2 か月に 1 回でそれぞれの事業で防災避難訓練を実施する。

【II】事故防止

月に 1 度事故防止委員会を開き、ヒヤリハット事案の見直し行い再発防止の為の改善案の検討を行った。(H31.4.1～R2.3.31)

環境的な要因	5 件
怪我 (受診までは至らない)	10 件
怪我 (数日間の治療・通院)	0 件

8. 地域交流支援

職員派遣

(管理者) 水俣市乳幼児発達相談事業たんぽぽ、芦北町乳幼児健康相談事業、人吉球磨発達相談事業の心理士、水俣市自立支援事業連絡協議会委員、水俣・芦北地域自立支援協議会委員、芦北町要保護児童対策協議会委員、水俣・芦北圏域障がい者総合支援協議会委員、水俣市ふれあいのまちづくり推進委員、水俣市こども子育て会議委員、水俣市幼稚園 PTA 役員、他研修等の講師等

9. 施設整備

なし

10. その他

後援会組織 児童養護施設光明童園・児童発達支援センターにここを支える会
児童発達支援センターにこことしての2019年度の資金援助はなし。